

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2021年6月11日まで（2011年9月26日設定）	
運用方針	<p>ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、新興国の通貨建て公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、実質組入比率の調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定し、原則として配当等収益等を中心に安定した分配をめざします。ただし、毎年6月・12月の計算期末には、安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。なお、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ネクスト・グロース・ボンド・オープン （毎月決算型）

愛称：夢こよみ

第87期（決算日：2019年1月15日）

第88期（決算日：2019年2月13日）

第89期（決算日：2019年3月13日）

第90期（決算日：2019年4月15日）

第91期（決算日：2019年5月13日）

第92期（決算日：2019年6月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）」は、去る6月13日に第92期の決算を行いましたので、法令に基づいて第87期～第92期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
63期(2017年1月13日)	6,367		70	△ 7.9	96.1	—	314
64期(2017年2月13日)	6,656		70	5.6	95.9	—	339
65期(2017年3月13日)	6,706		70	1.8	94.3	—	380
66期(2017年4月13日)	6,666		70	0.4	95.0	—	528
67期(2017年5月15日)	6,964		70	5.5	93.6	—	584
68期(2017年6月13日)	6,955		70	0.9	91.0	—	820
69期(2017年7月13日)	7,162		70	4.0	86.5	—	1,406
70期(2017年8月14日)	6,918		70	△ 2.4	94.2	—	2,256
71期(2017年9月13日)	7,073		70	3.3	96.0	—	2,285
72期(2017年10月13日)	6,614		70	△ 5.5	92.8	—	3,286
73期(2017年11月13日)	6,318		70	△ 3.4	94.7	—	4,407
74期(2017年12月13日)	6,273		70	0.4	94.1	—	4,120
75期(2018年1月15日)	6,212		70	0.1	95.6	—	3,629
76期(2018年2月13日)	6,052		70	△ 1.4	95.6	—	3,495
77期(2018年3月13日)	5,837		70	△ 2.4	94.3	—	3,332
78期(2018年4月13日)	5,708		70	△ 1.0	95.5	—	3,133
79期(2018年5月14日)	5,344		70	△ 5.2	94.8	—	2,908
80期(2018年6月13日)	4,851		70	△ 7.9	94.2	—	2,593
81期(2018年7月13日)	4,852		70	1.5	94.5	—	2,504
82期(2018年8月13日)	3,859		70	△19.0	95.5	—	1,867
83期(2018年9月13日)	3,936		70	3.8	94.2	—	1,822
84期(2018年10月15日)	4,216		70	8.9	94.3	—	1,880
85期(2018年11月13日)	4,369		70	5.3	94.4	—	1,868
86期(2018年12月13日)	4,356		40	0.6	92.4	—	1,844
87期(2019年1月15日)	4,355		40	0.9	94.9	—	1,822
88期(2019年2月13日)	4,638		40	7.4	95.6	—	1,936
89期(2019年3月13日)	4,542		40	△ 1.2	96.0	—	1,894
90期(2019年4月15日)	4,333		40	△ 3.7	95.7	—	1,798
91期(2019年5月13日)	3,952		40	△ 7.9	94.0	—	1,628
92期(2019年6月13日)	4,235		40	8.2	94.1	—	1,730

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第87期	(期 首) 2018年12月13日	円 4,356		% —	% 92.4	% —
	12月末	4,451		2.2	94.3	—
	(期 末) 2019年1月15日	4,395		0.9	94.9	—
第88期	(期 首) 2019年1月15日	4,355		—	94.9	—
	1月末	4,598		5.6	95.8	—
	(期 末) 2019年2月13日	4,678		7.4	95.6	—
第89期	(期 首) 2019年2月13日	4,638		—	95.6	—
	2月末	4,657		0.4	95.0	—
	(期 末) 2019年3月13日	4,582		△1.2	96.0	—
第90期	(期 首) 2019年3月13日	4,542		—	96.0	—
	3月末	4,272		△5.9	95.4	—
	(期 末) 2019年4月15日	4,373		△3.7	95.7	—
第91期	(期 首) 2019年4月15日	4,333		—	95.7	—
	4月末	4,188		△3.3	92.8	—
	(期 末) 2019年5月13日	3,992		△7.9	94.0	—
第92期	(期 首) 2019年5月13日	3,952		—	94.0	—
	5月末	4,088		3.4	92.7	—
	(期 末) 2019年6月13日	4,275		8.2	94.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第87期～第92期：2018年12月14日～2019年6月13日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第87期首	4,356円
第92期末	4,235円
既払分配金	240円
騰落率	2.7%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことやトルコやメキシコの金利が低下したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

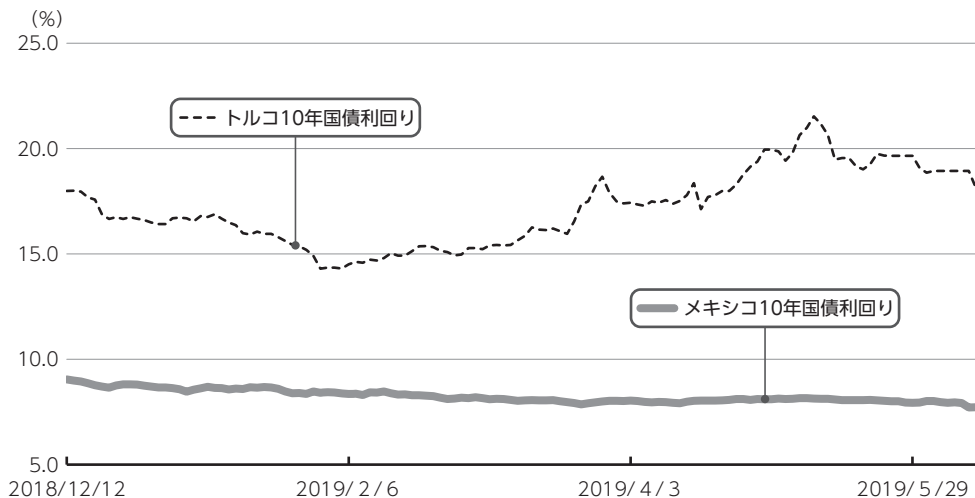
下落要因

トルコリラが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第87期～第92期：2018年12月14日～2019年6月13日

投資環境について

金利の推移



(注) 現地日付ベースで記載しております。

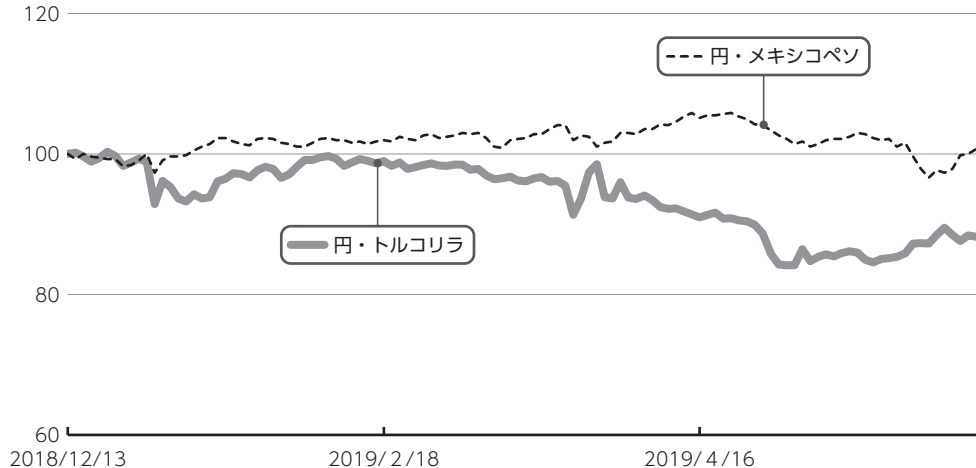
▶ 債券市況

トルコおよびメキシコの金利は低下しました。

トルコでは、当作成期首から2019年2月にかけては米国での政策金利引上げ休止の観測などから、投資家のリスクセンチメントが改善したことを背景に金利は低下基調で推移しましたが、5月中旬にかけて経常収支の悪化や国内外政治リスクの高まりなどを背景に、トルコの長期金利は上昇しました。5月中旬以降、経常収支の改善などを受けて利回りは低下し、当作成期を通じてみると、トルコの金利は低下して終わりました。

メキシコでは、米連邦準備制度理事会（F R B）等主要国の中央銀行が緩和的な姿勢を見せたことなどから金利は低下しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 為替市況

トルコリラは対円で下落、メキシコペソは対円でわずかに上昇しました。

トルコでは経常収支等経済指標の悪化や、国内外での政治リスクの高まりなどを背景に投資家センチメントが悪化したことなどから、当作成期を通じてみるとトルコリラは対円で下落しました。

メキシコでは、当作成期首から2019年4月下旬にかけては米国の政策金利引き上げ休止観測などから投資家のリスクセンチメントが改善したことなどを背景にメキシコペソは対円で上昇しました。その後、米中貿易摩擦の再燃や米国のメキシコに対する追加関税賦課計画発表を背景にリスクセンチメントが悪化しメキシコペソは対円で下落しましたが、6月に入

り米国がメキシコへの関税発動を無期限で停止し投資家のリスクセンチメントが改善したことで上昇に転じ、結果、当作成期を通じてみるとメキシコペソは対円でわずかに上昇して終わりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）

ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、新興国の通貨建て公社債に投資しています。

▶ ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ3.5%の上昇となりました。

信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を2カ国選定し、通貨別資産配分は5：5としました。

当作成期を通じてトルコリラ建て、メキシコペソ建ての国債に投資しました。

トルコリラが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、債券の利子収益を享受したことやトルコやメキシコの金利が低下したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

（ご参考）

■ 利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2018年12月13日）		作成期末（2019年6月13日）	
最終利回り	13.2%	最終利回り	13.2%
直接利回り	9.7%	直接利回り	9.7%
デュレーション	4.0年	デュレーション	4.2年

- ・ 数値は債券現物部分で計算しております。
- ・ 最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・ 直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・ 利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・ デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・ デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第87期 2018年12月14日~ 2019年1月15日	第88期 2019年1月16日~ 2019年2月13日	第89期 2019年2月14日~ 2019年3月13日	第90期 2019年3月14日~ 2019年4月15日	第91期 2019年4月16日~ 2019年5月13日	第92期 2019年5月14日~ 2019年6月13日
当期分配金 （対基準価額比率）	40 (0.910%)	40 (0.855%)	40 (0.873%)	40 (0.915%)	40 (1.002%)	40 (0.936%)
当期の収益	32	34	27	32	27	35
当期の収益以外	7	6	12	7	13	4
翌期繰越分配対象額	4,232	4,227	4,215	4,208	4,195	4,191

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ ネクスト・グロース・ボンド・オープン（毎月決算型）

今後の運用方針

ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ ネクスト・グロース・ボンド・マザーファンド

運用環境の見通し

主要な中央銀行による緩和的な姿勢を背景に、主要先進国の金利は低位で推移しており、主要先進国との金利差を狙った資金流入が今後も見込めることなどから、トルコリラ、メキシコペソは相対的に選好されるものと考えています。

他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念などの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。また、トルコでは依然として高インフレであり、規律ある経済・財政政策を実行しているか、メキシコでは、ロペスオブラドール大統領の政策運営や米国との外交など国内外の政治動向にも留意する必要があると考えます。

今後の運用方針

新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を原則2ヵ国選定します。通貨別資産配分は5：5を基本投資比率とします。

市場急変などの際に先進国の流動性の高い公社債等への投資比率を高める場合があります。今後も、市場動向を注視しつつ、慎重に投資を行っていく方針です。

2018年12月14日～2019年6月13日

1万口当たりの費用明細

項目	第87期～第92期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	32	0.726	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(14)	(0.323)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(17)	(0.377)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.055	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.052)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	34	0.781	

作成期中の平均基準価額は、4,382円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

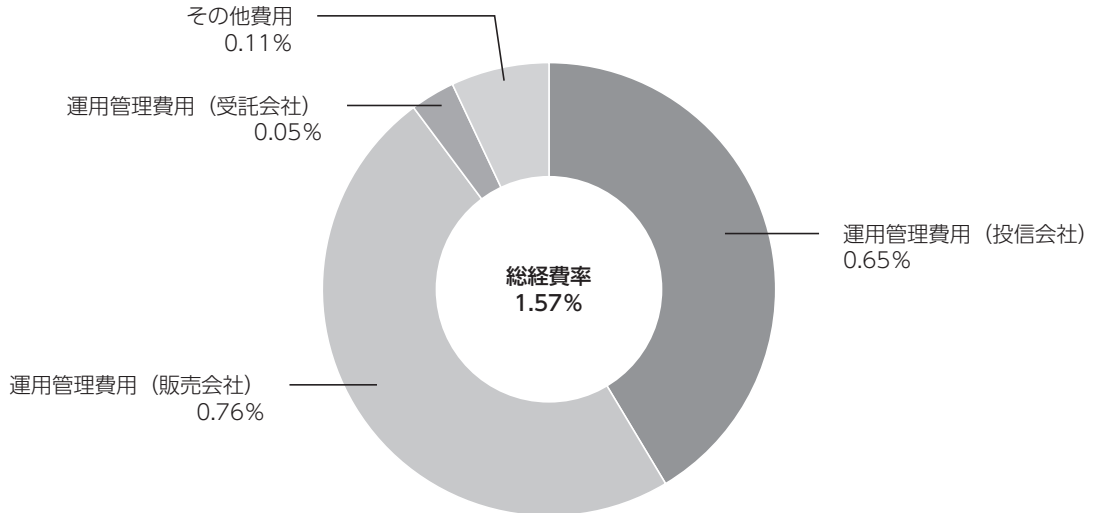
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.57%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年12月14日～2019年6月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第87期～第92期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド	16,083	16,468	192,520	192,821

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月14日～2019年6月13日)

利害関係人との取引状況

<ネクスト・グロス・ボンド・オープン（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド>

区 分	第87期～第92期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	254	113	44.5	436	144	33.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年6月13日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第86期末		第92期末	
	口 数		口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド	1,883,082		1,706,645	1,726,100

○投資信託財産の構成

(2019年6月13日現在)

項 目	第92期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド	1,726,100	98.6
コール・ローン等、その他	23,894	1.4
投資信託財産総額	1,749,994	100.0

(注) ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(1,709,581千円)の投資信託財産総額(1,744,021千円)に対する比率は98.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 メキシコペソ=5.66円	1 トルコリラ=18.67円		
----------------	----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第87期末	第88期末	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末
	2019年1月15日現在	2019年2月13日現在	2019年3月13日現在	2019年4月15日現在	2019年5月13日現在	2019年6月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,842,897,770	1,956,674,779	1,913,462,852	1,818,290,538	1,646,922,918	1,749,994,851
コール・ローン等	6,489,217	6,515,259	6,637,405	6,510,898	5,198,384	5,913,822
ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド(評価額)	1,818,778,904	1,931,824,317	1,889,946,474	1,793,817,463	1,624,658,822	1,726,100,872
未収入金	17,629,649	18,335,203	16,878,973	17,962,177	17,065,712	17,980,157
(B) 負債	19,970,243	20,405,144	18,853,201	20,240,606	18,487,672	19,767,076
未払収益分配金	16,744,305	16,700,251	16,684,331	16,600,254	16,480,962	16,340,570
未払解約金	782,971	1,476,657	—	1,199,999	71,991	1,359,010
未払信託報酬	2,435,370	2,221,304	2,162,150	2,432,784	1,928,720	2,061,085
未払利息	11	11	3	10	4	10
その他未払費用	7,586	6,921	6,717	7,559	5,995	6,401
(C) 純資産総額(A-B)	1,822,927,527	1,936,269,635	1,894,609,651	1,798,049,932	1,628,435,246	1,730,227,775
元本	4,186,076,257	4,175,062,839	4,171,082,983	4,150,063,560	4,120,240,604	4,085,142,721
次期繰越損益金	△2,363,148,730	△2,238,793,204	△2,276,473,332	△2,352,013,628	△2,491,805,358	△2,354,914,946
(D) 受益権総口数	4,186,076,257口	4,175,062,839口	4,171,082,983口	4,150,063,560口	4,120,240,604口	4,085,142,721口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,355円	4,638円	4,542円	4,333円	3,952円	4,235円

○損益の状況

項 目	第87期	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期
	2018年12月14日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月13日	2019年2月14日～ 2019年3月13日	2019年3月14日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月13日	2019年5月14日～ 2019年6月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 354	△ 291	△ 177	△ 257	△ 295	△ 261
支払利息	△ 354	△ 291	△ 177	△ 257	△ 295	△ 261
(B) 有価証券売買損益	18,520,919	137,059,149	△ 20,957,509	△ 67,969,823	△ 138,074,477	134,064,365
売買益	18,683,849	137,520,623	19,797	311,723	320,540	134,411,202
売買損	△ 162,930	△ 461,474	△ 20,977,306	△ 68,281,546	△ 138,395,017	△ 346,837
(C) 信託報酬等	△ 2,442,985	△ 2,228,207	△ 2,168,867	△ 2,440,343	△ 1,934,715	△ 2,067,486
(D) 当期損益金 (A + B + C)	16,077,580	134,830,651	△ 23,126,553	△ 70,410,423	△ 140,009,487	131,996,618
(E) 前期繰越損益金	△ 798,704,454	△ 791,893,135	△ 668,387,666	△ 697,570,594	△ 772,472,088	△ 912,459,653
(F) 追加信託差損益金	△1,563,777,551	△1,565,030,469	△1,568,274,782	△1,567,432,357	△1,562,842,821	△1,558,111,341
(配当等相当額)	(1,774,626,593)	(1,767,059,673)	(1,762,898,651)	(1,749,059,752)	(1,733,632,401)	(1,713,583,774)
(売買損益相当額)	(△3,338,404,144)	(△3,332,090,142)	(△3,331,173,433)	(△3,316,492,109)	(△3,296,475,222)	(△3,271,695,115)
(G) 計 (D + E + F)	△2,346,404,425	△2,222,092,953	△2,259,789,001	△2,335,413,374	△2,475,324,396	△2,338,574,376
(H) 収益分配金	△ 16,744,305	△ 16,700,251	△ 16,684,331	△ 16,600,254	△ 16,480,962	△ 16,340,570
次期繰越損益金 (G + H)	△2,363,148,730	△2,238,793,204	△2,276,473,332	△2,352,013,628	△2,491,805,358	△2,354,914,946
追加信託差損益金	△1,566,707,805	△1,567,535,507	△1,573,280,081	△1,570,337,402	△1,568,199,134	△1,559,745,398
(配当等相当額)	(1,771,719,831)	(1,764,579,327)	(1,757,917,939)	(1,746,178,073)	(1,728,304,459)	(1,711,980,301)
(売買損益相当額)	(△3,338,427,636)	(△3,332,114,834)	(△3,331,198,020)	(△3,316,515,475)	(△3,296,503,593)	(△3,271,725,699)
分配準備積立金	226,320	275,315	259,949	225,961	380,625	335,062
繰越損益金	△ 796,667,245	△ 671,533,012	△ 703,453,200	△ 781,902,187	△ 923,986,849	△ 795,504,610

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 4,233,282,449円
 作成期中追加設定元本額 86,785,688円
 作成期中一部解約元本額 234,925,416円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4235円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,354,914,946円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2018年12月14日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月13日	2019年2月14日～ 2019年3月13日	2019年3月14日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月13日	2019年5月14日～ 2019年6月13日
費用控除後の配当等収益額	13,759,568円	14,245,499円	11,664,843円	13,663,300円	11,281,974円	14,665,543円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	1,774,650,085円	1,767,084,365円	1,762,923,238円	1,749,083,118円	1,733,660,772円	1,713,614,358円
分配準備積立金額	280,803円	225,029円	274,138円	257,870円	223,300円	376,032円
当ファンドの分配対象収益額	1,788,690,456円	1,781,554,893円	1,774,862,219円	1,763,004,288円	1,745,166,046円	1,728,655,933円
1万円当たり収益分配対象額	4,272円	4,267円	4,255円	4,248円	4,235円	4,231円
1万円当たり分配金額	40円	40円	40円	40円	40円	40円
収益分配金金額	16,744,305円	16,700,251円	16,684,331円	16,600,254円	16,480,962円	16,340,570円

○分配金のお知らせ

	第87期	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期
1 万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド

《第8期》決算日2019年6月13日

[計算期間：2018年6月14日～2019年6月13日]

「ネクスト・グロス・ボンド・マザーファンド」は、6月13日に第8期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制等を総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を複数選定します。 各国の通貨別資産配分は、市場流動性や利回り水準等を勘案して決定します。 市場急変等の際に先進国の流動性の高い公社債等へ投資を行う場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、組入比率の調整等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。
主 要 運 用 対 象	新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	円	騰 落 率			
4期(2015年6月15日)	14,953	2.7%	94.4%	—	1,275 百万円
5期(2016年6月13日)	12,219	△18.3	92.7	—	530
6期(2017年6月13日)	12,213	△0.0	91.2	—	819
7期(2018年6月13日)	9,883	△19.1	94.5	—	2,586
8期(2019年6月13日)	10,114	2.3	94.3	—	1,726

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2018年 6月13日	円 9,883	—	94.5	% —
6月末	10,142	2.6	96.1	—
7月末	10,003	1.2	95.6	—
8月末	8,041	△18.6	94.7	—
9月末	9,254	△ 6.4	95.5	—
10月末	9,481	△ 4.1	95.6	—
11月末	10,070	1.9	94.3	—
12月末	9,988	1.1	94.5	—
2019年 1月末	10,429	5.5	96.0	—
2月末	10,665	7.9	95.2	—
3月末	9,881	△ 0.0	95.7	—
4月末	9,785	△ 1.0	93.1	—
5月末	9,662	△ 2.2	92.9	—
(期 末) 2019年 6月13日	10,114	2.3	94.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

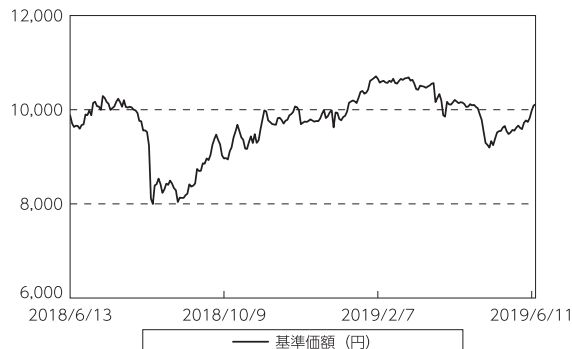
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎債券市況

- ・トルコの金利は上昇、メキシコの金利は短期ゾーンを除き低下しました。
- ・トルコでは、期首から2018年8月中旬にかけて、インフレ加速懸念やトルコ中央銀行の独立性懸念等を背景に、金利は上昇しました。8月中旬以降は2019年2月にかけて経常収支の改善等を背景に金利は低下しましたが、2月以降経常収支の悪化や国内外政治リスクの高まりなどを背景に、トルコの金利は上昇しました。期を通じてみると、トルコの金利は上昇して終わりました。
- ・メキシコでは、期首から2018年11月下旬にかけては、ロペスオブラドル新大統領の政策運営に対する不透明感が高まったことなどで金利は上昇しましたが、11月下旬以降は予算案を受けた財政悪化懸念の後退や、米国をはじめとする主要国の中央銀行が緩和的な姿勢を見せたこと

などから金利は低下しました。期を通じてみるとメキシコの金利は短期ゾーンを除き、低下して終わりました。

◎為替市況

- ・トルコリラは対円で下落、メキシコペソは対円で上昇しました。
- ・トルコでは期首から2018年8月中旬にかけてインフレ加速懸念等からトルコリラは対円で下落しました。8月中旬から11月下旬にかけて経常収支改善等から上昇したものの、それ以降は国内外政治リスクの高まりなどを背景に下落しました。期を通じてみるとトルコリラは対円で下落しました。
- ・メキシコでは、期首から2018年10月上旬にかけては、大統領選挙や北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉の不透明感の後退などから、メキシコペソは対円で上昇しましたが、11月下旬にかけては、新大統領の政策運営に対する不透明感などから下落しました。11月下旬以降、主要国中銀の緩和的姿勢や米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）の交渉進展等を背景にメキシコペソは対円で上昇しました。期を通じてみるとメキシコペソは対円で上昇して終わりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を2カ国選定し、通貨別資産配分は5：5としました。
- ・期を通じてトルコリラ建て、メキシコペソ建ての国債に投資しました。
- ・トルコリラが対円で下落したことや、トルコの金利が上昇したことなどがマイナスに影響したものの、債券の利子収益を享受したことやメキシコの金利が低下したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・主要な中央銀行による緩和的な姿勢を背景に、主要先進国の金利は低位で推移しており、主要先進国との金利差を狙った資金流入が今後も見込めることなどから、トルコリラ、メキシコペソは相対的に選好されるものと考えています。
- ・他の新興国通貨と同様に、中国の景気減速懸念などの外部要因の影響を受け、投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから不安定な動きに転じる可能性がある点については留意が必要です。また、トルコでは依然として高インフレであり、規律ある経済・財政政策を実行していけるか、メキシコでは、ロペスオブラドール大統領の政策運営や米国との外交など国内外の政治動向にも留意する必要があると考えます。

◎今後の運用方針

- ・新興国の通貨建て公社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
- ・投資にあたっては、信用状況、経済環境、取引規制などを総合的に勘案のうえ、新興国の中から相対的に利回りが高く質の高い成長が期待されると判断される国を原則2カ国選定します。通貨別資産配分は5：5を基本投資比率とします。
- ・市場急変などの際に先進国の流動性の高い公社債等への投資比率を高める場合があります。
- ・今後も、市場動向を注視しつつ、慎重に投資を行っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年6月14日～2019年6月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(11)	(0.111)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	11	0.111	
期中の平均基準価額は、9,732円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年6月14日～2019年6月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 76,473	千メキシコペソ 157,962 (4,500)
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 35,642	千トルコリラ 41,789

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2018年6月14日～2019年6月13日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 810	百万円 141	% 17.4	百万円 1,681	百万円 481	% 28.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年6月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 144,500	千メキシコペソ 143,330	千円 811,249	% 47.0	% —	% 25.1	% 13.4	% 8.5
トルコ	千トルコリラ 56,800	千トルコリラ 43,715	千円 816,174	47.3	47.3	25.2	11.2	10.8
合 計	—	—	1,627,423	94.3	47.3	50.3	24.6	19.4

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
国債証券	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	3,000	2,707	15,326	2026/3/5
	6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	26,200	25,421	143,886	2022/6/9
	7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	15,800	15,666	88,672	2027/6/3
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	17,100	17,071	96,622	2031/5/29
	7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	30,700	29,924	169,371	2042/11/13
	8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	26,000	26,036	147,366	2020/6/11
	8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	15,100	15,341	86,831	2023/12/7
	8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	10,600	11,161	63,172	2038/11/18
小 計					811,249	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ		
国債証券	10.5 TURKEY GOVT 200115	10.5	5,800	5,447	101,713	2020/1/15
	10.6 TURKEY GOVT 260211	10.6	16,050	11,925	222,642	2026/2/11
	11 TURKEY GOVT 270224	11.0	9,700	7,216	134,737	2027/2/24
	8.8 TURKEY GOVT 230927	8.8	7,950	5,553	103,675	2023/9/27
	9 TURKEY GOVT 240724	9.0	6,000	4,194	78,301	2024/7/24
	9.4 TURKEY GOVT 200708	9.4	5,200	4,581	85,531	2020/7/8
	9.5 TURKEY GOVT 220112	9.5	6,100	4,797	89,572	2022/1/12
小 計					816,174	
合 計					1,627,423	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2019年6月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,627,423	93.3
コール・ローン等、その他	116,598	6.7
投資信託財産総額	1,744,021	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,709,581千円) の投資信託財産総額 (1,744,021千円) に対する比率は98.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1メキシコペソ=5.66円	1トルコリラ=18.67円	
---------------	---------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,744,021,347
コール・ローン等	51,141,512
公社債(評価額)	1,627,423,356
未収利息	58,643,823
前払費用	6,812,656
(B) 負債	17,980,218
未払解約金	17,980,157
未払利息	61
(C) 純資産総額(A-B)	1,726,041,129
元本	1,706,645,118
次期繰越損益金	19,396,011
(D) 受益権総口数	1,706,645,118口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,114円

<注記事項>

①期首元本額 2,617,306,481円
 期中追加設定元本額 78,592,995円
 期中一部解約元本額 989,254,358円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0114円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 ネクスト・グロース・ボンド・オープン(毎月決算型) 1,706,645,118円

○損益の状況 (2018年6月14日～2019年6月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	185,625,973
受取利息	185,646,829
支払利息	△ 20,856
(B) 有価証券売買損益	△178,089,684
売買益	148,935,704
売買損	△327,025,388
(C) 保管費用等	△ 2,176,890
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,359,399
(E) 前期繰越損益金	△ 30,633,498
(F) 追加信託差損益金	△ 4,923,550
(G) 解約差損益金	49,593,660
(H) 計(D+E+F+G)	19,396,011
次期繰越損益金(H)	19,396,011

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。